

2017年度 自動車・自動車部品WG 活動報告

『模倣自動車部品の販売・流通削減と
自動車産業に係る知財情報収集』



2018年3月13日

中国IPG 自動車・自動車部品WG
岩田潤治（電装（中国）投資有限公司）

AGC

KYB

TOYOTA

DENSO



mazda



新日铁住金

HONDA

NISSAN

JAMA

1. 活動報告

1-1. 活動テーマ

【テーマ設定の考え方】

- 模倣自動車部品を使用した場合、**お客様の安全に影響**を与える可能性がある
⇒ **模倣部品の流通・販売を減らす**取り組みを行う (No.1-5)
- 昨今、自動車産業に係る**知識産権連盟・専利快速保護センター設立**の動きがある
⇒ **実態・動向を調査し、日系自動車関連企業としての対応・活用方法**を検討する (No.6-7)

【活動テーマ一覧】

No.	テーマ名	新規/継続	担当
1	摘発押収品の廃棄	継続	日産、新日鐵住金
2	モーターショーでの消費者啓発活動	継続	KYB
3	共同啓発活動 (対当局、対消費者 (モーターショー以外))	新規	マツダ、AGC
4	自動車・自動車部品に関する模倣品実態調査 (オフライン、オンライン)	新規	デンソー
5	VDAとの連携した模倣対応活動	新規	トヨタ
6	中国自動車産業知識産権連盟の実態調査	新規	日産
7	重慶市専利快速保護センター (自動車産業用) の実態調査	新規	ホンダ

1. 活動報告

1-2. 2017年度実施事項/活動成果の一覧

No.	テーマ名	2017年度の実施事項/活動成果
1	摘発押収品の廃棄	・摘発押収品の廃棄状況を確認すべく、 成都/重慶AICに訪問打診するも実現せず、西安/瑞安AICに訪問打診中
2	モーターショーでの消費者啓発活動	・ 広州MS（開催日：11/17(金)～11/26(日)）でのブース展示 & FM放送の実施、アンケート分析
3	共同啓発活動 (対当局、対消費者（モーターショー以外）)	・ 農薬WG/広告代理店にヒアリングの上、啓発広告のプラットフォーム候補（微博・微信）のメリット・デメリットを比較
4	自動車・自動車部品に関する 模倣品実態調査（オフライン、オンライン）	・インターネット委員会にヒアリング、各社ニーズを集約した上で、 オンライン・オフライン上の模倣品実態調査を実施 (※JETRO調査との連携アイテム)
5	VDAとの連携した模倣対応活動	・ VDAとの意見交換会を実施 （VDA-IPG間の活動共有）の上、以下の 連携テーマ候補を決定 -河北省清河市AIC訪問・意見交換 -模倣部品の摘発件数や地域のデータ共有
6	中国自動車産業知識産権連盟 の実態調査	・JAMAに本活動を紹介し、 CAAMからの情報収集を依頼 ⇒特に目立った動きはなく、継続監視中
7	重慶市専利快速保護センター （自動車産業用）の実態調査	・快速保護センターの 設立実態をネット調査 ⇒特に目立った動きはなく、継続監視中

1. 活動報告

1-3. 摘発押収品の廃棄実態の調査

【課題】

- ・自動車部品は消費者の命にかかわるため、押収侵害部品の完全廃棄が必要
 - ・自動車部品は様々な材料を含んでおり、環境に優しい廃棄手法の実現が必要
- ⇒上記実現のために、2015年より当局の廃棄実態調査を開始し、これまで実施した税関の実態調査に加え、AICの実態調査を行い、課題抽出と提案につなげる。

【実施事項】

- ・成都/重慶AICに訪問打診するも実現できず、西安/瑞安AICに訪問打診中

【成果】

- ・無（本テーマだけでのA I C交流は難しいことが判明）

【2018年度実施計画】

- ・本テーマ以外にもスコープを広げつつ、西安/瑞安AICを訪問し、各社の具体的な事例を持って意見交換、適切な廃棄を働きかける。

1. 活動報告

1-4. モーターショーでの消費者啓発活動

【課題】

- ・模倣品に対する消費者意識向上には、継続的な活動が必要
- ・展示内容への興味増大、多くの消費者へメッセージ発信、ネット購入状況把握

【実施事項】

QBPCと共同、JAMA・JAPIAの協賛を得て真正品と模倣品を比較展示
MS開催期間：2017年11月17日～26日（MS来場者数 約67万人）

【成果】

模倣品危険性紹介、純正品品質・保証アピール、4S店利用の啓発
知財関連政府部門・報道関係者へ周知と協力依頼、広東FM放送局コラボ継続、
クイズラリー・イメージキャラクターによる集客増大、アンケートによる消費者動向把握

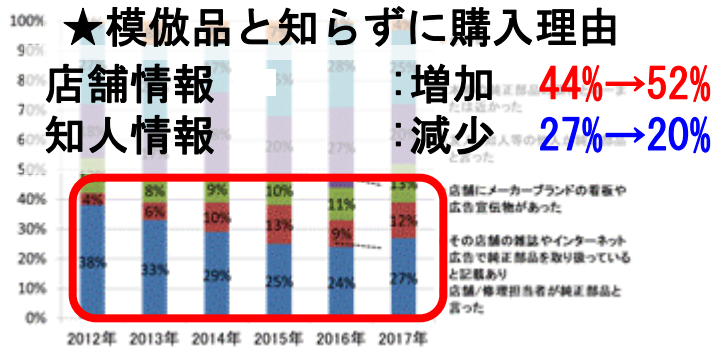
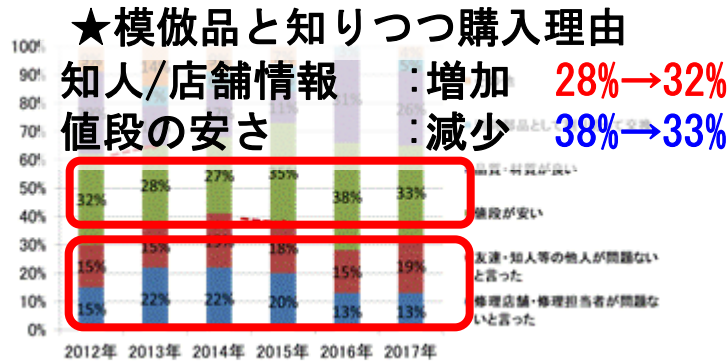
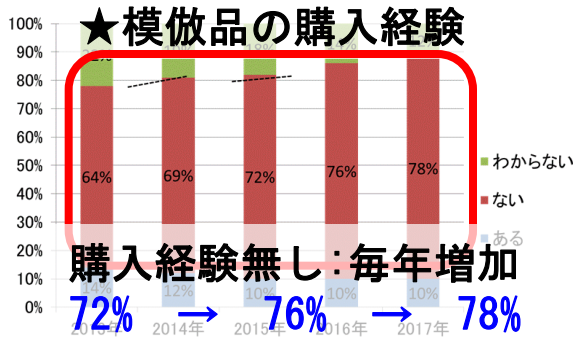
【2018年度活動計画】

数少ない直接の消費者への啓発機会であり活動を継続する。
⇒17年度反省点を改善の上、広州MSでのブース展示&FM放送を実施し、消費者動向の変化を継続的に把握する。

1. 活動報告

1-4. モーターショーでの消費者啓発活動

アンケート分析結果（抜粋）



★消費者・当局へ
貴重なアピールの場
★関連団体一致団結

MS 出展
活動継続

★模倣品の購入経験
無しが毎年増加

消費者啓発
活動継続

★模倣品購入理由の大半は「知人/店舗情報」

模倣品購入
リスク周知

★多くの消費者に対し
啓発活動

広東FM放送
局コラボ継続

★展示内容への興味を
湧かせる活動

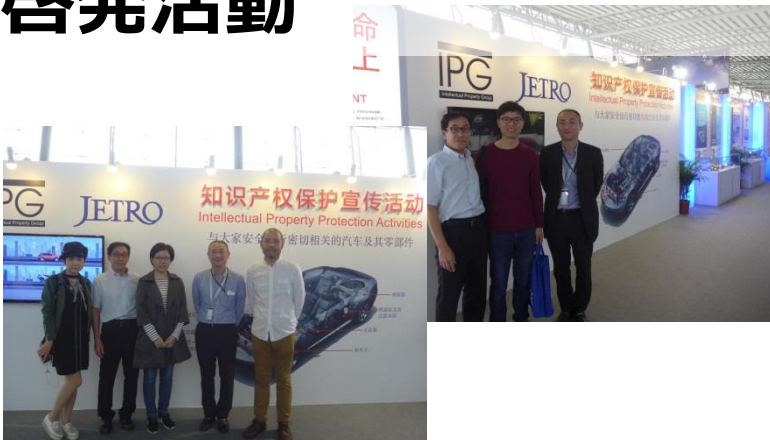
クイズラリー
継続

1. 活動報告

1-4. モーターショーでの消費者啓発活動



**多くの消費者に対し啓発
広東FM放送局とのコラボ継続**



**当局へのアピール
当局招待、4局14人来展**



**消費者動向調査(アンケート)
過去最高の1,993名から聴取**



**展示内容への興味喚起
クイズラリー実施**

1. 活動報告

1-6. 模倣品実態調査（オンライン、オフライン）

【課題】

- 個社単位では侵害リンクの削除やサイテーション情報に基づく模倣品摘発の実績はあるが、自動車業界全体として、最新の模倣品氾濫状況やオンライン情報の活用方法等は不透明。
⇒ネット・市場での模倣自動車部品氾濫状況を把握し、自動車業界としての対応を検討する。

【実施事項】

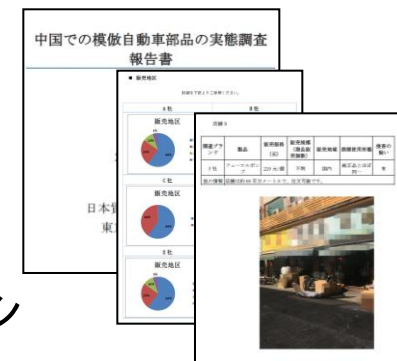
- インターネット委員会へのヒアリング
- 各社ニーズを集約した上で、調査会社の実態調査を委託し、報告書を受領

【成果】

- 調査報告書により最新の模倣品氾濫状況やオンライン情報を把握

【2018年度活動計画】

- 2017年度調査結果を踏まえ、自動車業界全体でのオフライン・オフライン双打活動を検討する。



1. 活動報告

1-7. VDAとの連携した模倣対応活動

【目的】

- VDAメンバーとIPGメンバーのノウハウを共有する。
- VDAと連携し、相乗効果をもたらす共同活動を実施する。

【実施事項】

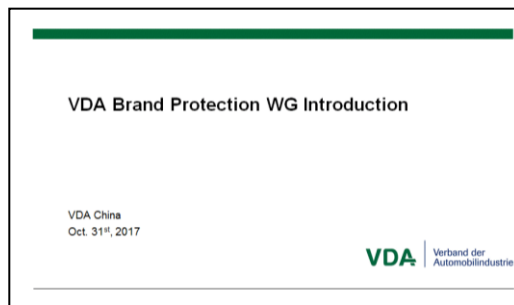
- VDAとの意見交換を2回実施（2017年7月5日、11月3日）

【成果】

- VDAとの間で本プロジェクトを合意し、以下の連携テーマ候補を決定
 - 河北省清河市AIC訪問・意見交換
 - 模倣部品の摘発件数や地域のデータ共有
 ⇒ VDA-IPG共通の問題地域をあぶり出し、当局訪問のきっかけを作る

【2018年度活動計画】

- VDAと連携し、上記連携テーマを実施する。



1. 活動報告

1-8. 中国自動車産業知識産権連盟の実態調査

【課題】

- 北京福田が中心になって中国自動車産業知識産権連盟が発足。パテントプール等の動きがあった場合、日本企業にとって脅威となる可能性があるため、その実態・動向を調査する必要がある。

【実施事項】

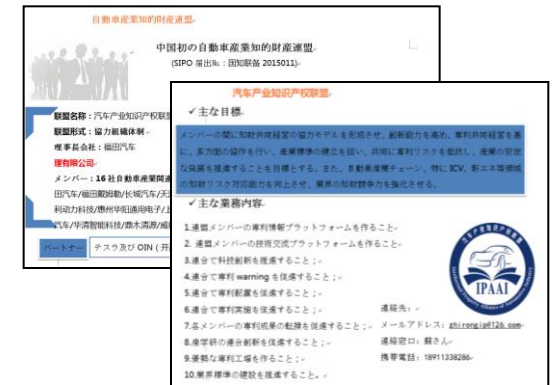
- JAMAに本活動を紹介し、CAAMからの情報収集を依頼

【成果】

- JAMAとの連携体制構築
- 本連盟の主要メンバーと以下の活動概要を把握
 - 専利情報/技術交流プラットフォームの構築
 - 専利の侵害警告/配置/成果転換の推進
 - 業界標準の構築推進 など

【2018年度活動計画】

- JAMA-CAAMルートを活用して継続調査し、パテントプール等の目立った動きがあった場合は意見交換を打診する。



1. 活動報告

1-9. 重慶市專利快速保護センターの実態調査

【目的】

- ・ 快速保護センターの設立実態、組織体制、業務内容等を把握する。
- ・ 快速保護センターと連携し、セミナー・啓蒙活動等を図る。

【実施事項】

- ・ 快速保護センターの設立実態をネット調査

【成果】

- ・ 以下の情報を把握
 - 17年10月からスタッフをSIPOに派遣し、実務研修などを実施
 - 17年12月から運営試行
 - SIPO・重慶IPOと協力し、地域内の自動車・オートバイに関する知財権審査/権利確認/権利保護、両江地域の知財サービス・管理/知財仲介機構の導入・研修を担当
 - 主管部門は両江新区科技局であり、重慶市IPOの指導を受ける

【2018年度活動計画】

- ・ 法律事務所も活用して継続調査し、運営開始したら快速保護センター・重慶IPOを訪問し、連携の可能性を探る。



2. 2018年度活動計画のまとめ

No.	テーマ名	積み残し課題	2018年度実施計画
1	摘発押収品の廃棄	AICでの廃棄状況確認と適切な廃棄の働きかけ	・西安/瑞安AICを訪問し、各社の具体的な事例を持って意見交換、適切な廃棄を働きかける
2	モーターショーでの消費者啓発活動	アンケート結果に応じた展示・運営方法の改善	・17年度反省点を改善の上、 広州MSでのブース展示 & FM放送を実施 し、消費者動向の変化を継続的に把握する
3	共同啓発活動	コスト・コンテンツ・運営体制の具体化	・WG内で対応可能なコストを見極めた上で、 いつ、どんな内容のコンテンツを掲載／更新していくのか、そのための運営体制・役割分担を検討 する
4	模倣品実態調査 (オフライン、オンライン)	調査結果を踏まえた対策検討	・17年度調査結果を踏まえ、 自動車業界全体でのオフライン・オフライン双打活動を検討 する
5	VDAとの連携した模倣対応活動	連携テーマの実施	・VDAと連携し、「 河北省清河市AIC訪問・意見交換 」と「 模倣部品の摘発件数や地域のデータ共有 」を実施する
6	中国自動車産業知識 産権連盟の実態調査	調査の継続実施と対策検討	・JAMA-CAAMルートを活用して継続調査し、 パテントプール等の目立った動きがあった場合は意見交換を打診 する
7	重慶市専利快速保護 センターの実態調査	調査の継続実施と対策検討	・法律事務所等も活用して継続調査し、 運営開始したら快速保護センター・重慶IPOを訪問 し、連携の可能性を探る